

K A K E G A W A

かけがわ 第13号

市議会だより

平成19年11月1日

編集/発行 掛川市議会

静岡県掛川市長谷一丁目1番地の1

☎ 0537 (21) 1160

<http://www.city.kakegawa.shizuoka.jp>



秋祭り（曾我地区）

おもな内容 CONTENTS

- 9月定例会の概要 2ページ
- 一般質問 4ページ
- 議案質疑 10ページ
- 審議結果一覧 11ページ
- 傍聴席/11月定例会の予定 12ページ

平成 18 年度

一般会計歳入歳出決算及び 特別会計歳入歳出決算を認定

平成19年第5回(9月)定例会は、9月5日から9月28日まで24日間の会期で開かれました。
今期定例会には、平成18年度掛川市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定をはじめ、補正予算や条例案など36議案が提出され、いずれも原案のとおり認定・可決・同意されました。
また、議員から提出された「地球温暖化対策の推進・強化を求める意見書」ほか1件が全会一致で可決されました。

会計別の決算状況

会計	区分	歳入(収入済額) (A)	歳出(支出済額) (B)	対前年比	差引額 (A-B)
				(%)	
一般会計		414億9,416万円	397億5,927万円	93.1	17億3,489万円
特別会計	国民健康保険	88億7,812万円	84億8,476万円	98.6	3億9,336万円
	老人保健	78億8,607万円	79億4,377万円	89.5	-5,770万円
	介護保険	59億9,329万円	58億8,748万円	99.8	1億 581万円
	公共用地取得	5億6,644万円	5億6,509万円	1691.5	135万円
	駅周辺施設管理	1億3,013万円	1億2,760万円	90.4	253万円
	簡易水道	2,302万円	1,519万円	97.5	783万円
	公共下水道事業	28億4,326万円	28億1,007万円	78.1	3,319万円
	農業集落排水事業	8億4,595万円	8億4,595万円	66.4	0万円
	浄化槽市町村設置推進事業	7,229万円	7,229万円	121.4	0万円
	温泉事業	1億7,554万円	1億7,554万円	88.6	0万円
	上西郷財産区	323万円	133万円	349.7	190万円
	桜木財産区	44万円	32万円	118.8	12万円
	東山財産区	646万円	289万円	116.2	357万円
	佐束財産区	1,154万円	1,086万円	101.3	68万円
合計		689億2,994万円	667億241万円	92.5	22億2,753万円

決算議案については、一般会計と特別会計の二つの決算特別委員会を設置し、審査されました。
一般会計決算特別委員会(高塚昌彦委員長)は、九月二十日、二十一日の

二日間、特別会計決算特別委員会(豊田勝義委員長)は、九月二十日に開催され、審査の結果いずれも原案のとおり認定すべきものと決しました。

9月定例会の経過

- 5日 本会議 II 平成十八年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算、平成十九年度一般会計補正予算等各議案の市長提案説明及び監査委員の審査説明
- 13日 本会議 II 一般質問
- 14日 本会議 II 一般質問
- 18日 本会議 II 議案質疑
一部議案採決
議案・請願・陳情、常任委員会付託
一般会計・特別会計決算特別委員会設置、付託
常任委員会 II 付託議案、請願陳情審査
- 20日 一般会計及び特別会計決算特別委員会 II 付託議案審査
- 21日 一般会計決算特別委員会 II 付託議案審査
- 28日 本会議 II 決算特別委員会・常任委員会委員長報告、質疑、討論、採決
請願審査結果報告、請願採決、意見書採決、議員派遣採決

決算特別委員会委員長報告

9月28日の本会議において、一般会計及び特別会計決算特別委員会の審査経過及び審査結果が、両委員長より報告されました。ここでは、その一部を掲載いたします。

一般会計決算特別委員長報告（抜粋）

問 人事交流の実態と職員研修について。

答 県や磐田市などと職員交流を行っているが、企業との人事交流については、給与など事務的に難しい面もある。

人事考課の評価者研修では民間の人材育成会社などをお願いしたり、メンタルヘルス研修、接遇研修などは外部講師を招いている。

問 市債が若干減り基金も減っていく傾向にあるがいかがか。

答 財政調整基金は残高として29億円あった。いくら持てばいいというのはないが、標準財政規模の7～8%が県下市部の平均であるので、他市並みには確保していきたい。

問 地域審議会のあり方について。

答 合併協議会時の約束が守られているか、大きな変化があるかということ審議している。また、各地域の重要事項についてお知らせしたり、それについての意見を求めたりもしている。

問 市税の収納済み額大幅減（5億2,719万円）の要因は。

答 法人市民税の減が要因の一つであり、これは大口企業が18年度は半分になってしまったことによるものである。

また、企業の節税対策が影響しているものと思われる。

問 河川維持に関連して、草刈りに対する県の考え方は。

答 県は、地域住民の河川愛護への行動に対して補助している。謝礼については、報告書に基づいて市が面積を確定して金額を算定している。

問 地域子育て支援センター支援費について、今後のセンター拡充は。

答 子育て支援センターは、年々利用者も増えている。これに伴い保育園入園希望者も年々増えている。

センターの拡充については、今後の幼保園の施策の中で考えていきたい。

特別会計決算特別委員長報告（抜粋）

●国民保険特別会計

問 収納率が落ちてきているが、どういうことが言えるのか。

答 パート労働者の増加などの雇用体系の変化や、外国人の増加、及び国保世帯の30%近くが法による軽減制度対象となっており、総じて低所得者が多いことが考えられる。

●介護保険特別会計

問 高齢者虐待の実態や対応は。

答 家族から虐待の実態が挙がってこないため、月1回民生委員と懇話会を開き情報を得ている。講演会を開催したり、訪問などで把握に努め、昨年度122件の相談があり、虐待と思われるものが29件。関係機関で高齢者虐待防止連絡会を組織し検討している。

●公共下水道事業特別会計

問 中越沖地震では、下水が大混乱で掛川市も調査に行っているがどうであったか。

答 大きく影響するのが、電気・水道・ガス・下水道と感じた。能登半島地震でも特に下水道は、水道が復旧して初めてわかる部分があり、水道復旧の十倍の費用がかかるとも聞いた。そういう意味では、合併浄化槽の方が地震に強いと感じた。

●浄化槽市町村設置推進事業特別会計

問 この事業は約4,000基設置となっているが、今後の具体的な推進計画は。

答 年度別では20年度約160基、21年度200基、22年度300基、23年度500基、24、25年度各700基、26年度500基、27年度400基、最終28年度380基、合計3,840基の設置計画がある。

農集排をやめて市町村設置にしようということになったエリアが網羅されている。

●温泉事業特別会計

問 温泉事業は、行政のスリム化の中で、今日的な観点に立って民間のノウハウでやるべきものと思うが。

答 民間という考え方もあると思うが、今の時点では経営のスリム化を図り運営したいと考えている。

一般質問 Q&A

● 質問部分は、質問者本人が作成しました。



建設が始まった「大須賀交流センター」

今後の支所機能と権限は

内藤 澄夫 (親和会)

Q 合併協議会での一本庁二支所体制の機能は果たされているか。住民サービスに問題はないか。また、農協が交流センターに入るメリットは。

A 本庁と支所の業務においては、窓口業務など市民に身近な行政サービスを除き、同一または類似の事務事業について、統合・集約化を進めるなどの合理化を図っている。

農協が入居するメリットは、利用者が市民活動に興味を持ち、施設内の市民活動エリアを利用することが期待できたり、交流センターの活性化、賑わいなどの相乗効果につながることを期待できる。

大須賀運動場の活用は

Q 現在のグラウンドとしての利用状況はどうか。特にサッカー等狭くて使用できないのではないかと。今後、移転等考えては。

A スポーツ競技も多様化し、特にサッカーで利用していただく方が増えている状況にある。公式のサッカー場としては適していないため、練習場としての利用である。移転等施設整備については、総合的に調査・研究しながら検討していきたい。

生涯学習まちづくり土地条例の協定区域内の競売を考える

戸塚 久美子 (みどりの会)

Q 競売事件を通して考察したことは、①司法過疎地の解消②市役所内の危機管理体制の構築③土地条例の届出義務に競売も含む解釈の拡大④地域社会問題に対応できる住民自治への支援等である。所見を伺う。

A 現代の社会は、自治区といえど、利害の損失などが複雑に絡むことがある。かつてのように、行政から一方的に一つの解決策を示す時代ではなくなった。地域の人々がそれぞれ地域全体の視点に立ち、公共性を認識しつつ、課題を整理してコンセンサスを得ていくことが大切である。

行政としては、そうした人材の発見とネットワーク構築の支援策が課題と認識している。

平均単価で鹿児島茶が優位になったことの検証はいかに

Q 産地賞連続受賞の掛川茶であるものの、各生産工場の経営の弱体化は否めない。生産現場への支援策とテカップリングの考え方を伺う。また、掛川茶振興協会の設立三十年に当たり、さらなる活動はどう展開されるのか。

A 既存のことだけ考えていたのでは静岡県のお茶を守るのも難しい。いろいろとアイデアを出していかなくてはならない。デカップリングについては、考えを広げる機会を作っていきたい。お茶を国際的に売り込むこと、そしてお茶と健康について、積極的に努力していくことが必要だと感じている。



茶のまち掛川の新しい取り組み (H19.9.23 静岡新聞より)

富士山静岡空港へのアクセスは

菅沼茂雄（親和会）

Q 静岡空港は二十一年三月の開港を控え、それぞれ準備が進められている。東名での牧之原インター経由のアクセスもよいと思うが、都市計画道路東環状線の早期完成を実現し、日坂金谷お茶の郷、新道牧之原金谷ルートへのアクセスが最良と考えるがいかがか。

A 東環状線については、空港アクセス関連道路として位置づけ、県の支援をいただけるように今後進めていきたいと考えている。そのためには、市内だけからの空港利用という狭い範囲ではなく、より広域的な視点で考えていく必要がある。

空港アクセスの整備は、時間の短縮のみならず、産業や経済にとっても大きな効果が期待される。県に対して強く要望していきたい。



体育施設の整備・充実

Q 掛川球場での高校野球一日三試合が実施できるように、夜間照明施設の整備は。陸上競技の同好者も多く日頃の練習場確保に大変苦慮している。陸上競技場の整備計画を伺う。

A 球場については、既存施設の規模のままで照明設



夜間の照明設備を望む「掛川球場」

備の設置などを行ってもかなりの費用が予想されるため、当面は老朽化した施設の整備を進めながら、将来の整備について検討していきたい。

また、現時点では、陸上競技専用施設の建設は困難であると考えられる。旧掛川東高跡地にあるグラウンドなどを練習ができるように整備していきたい。

【他の質問事項】
人間関係と連携

音楽を活かした街づくり「ピアノの街・掛川」としては

鈴木正治（親和会）

Q ヤマハのピアノ生産部門が掛川に集約され、掛川工場では年間四万台製造され、国内全生産量の七〇％を占めることになり、まさにピアノの街・掛川となる。

これを機に、市役所ロビーにピアノを置いて自動演奏するなど、ピアノの街・掛川を目指したらどうか。

A ヤマハピアノの生産拠点が当市に集約されることは、音楽関係者をはじめ、市民の音楽に対する意識高揚への効果も多大なものがある。大変良いアイデアだと思う。早速、ヤマハにも相談してみたい。

夢とロマンの天竜浜名湖鉄道の浮揚策は

Q 天浜線の乗客数が減少傾向にあるなか浮揚策は。利用拡大策として国道一号

線と天浜線の交差部付近に新駅の設置はいかがか。近辺に



新たな需要が期待される「天竜浜名湖鉄道」

は大型商業施設、福祉施設も多数あり需要が見込まれるが見解を伺う。

A 新駅設置にあたり、提案された場所は大変良い場所と考えるが、会社の経営状況も踏まえて、増客、総収入を見込んでいく必要がある。費用、ダイヤなど、あらゆる方面から慎重に考えて検討していく必要がある。

【他の質問事項】
都市計画道路



成滝地域に歩道橋設置を願う

Q 国と自治体は、すべての住民の権利として移動手段を保証する責任がある。交通弱者のために、早期実現を求める。

A 地域などで以前から話し合いを進めているが、和田岡地区と曽我地区と一緒に回るところまでは、まとまっている。しかし、路線と停留所についてはまだまだ一本化できていない。来年の

西部地区から市立総合病院に行くバスの早期実現は

鷲山喜久 (日本共産党)

四月にはバス路線が開通できるように努力していきたい。

小中学生の通学路、地域発展のため逆川歩道橋の実現を

Q かつて逆川の成滝・満水地区に橋があつて地元で幅広く利用されていた。河川改修後、橋が架からなくなつた。地元要望としても逆川歩道橋が求められている。早期実現をする考えはあるか。

A この歩道橋の設置については、地区の切なる要望と理解をしているが、現在の財政事情を考えると、早急な橋梁設置は難しい。

まず、児童の交通安全対策の検討を進め、まともり次第これを実施していきたい。

【他の質問事項】
非核平和都市宣言の啓発
都市計画税

掛川市立総合病院は充実し現在地で存続すべき

水谷陽一 (日本共産党)

Q 市民が自主的に「掛川市立病院の充実と現在地での存続を求める署名」を行つていて、その数は八千五百名以上も集まっている。市民の多くは「統合」を望んでいない。まして、現在地での存続の声が多い。

市議会で、多数決で決めたからといって市民の声は反映していない。

市長は市民の声をいつ、どういう形で聞くのか。また、掛川市立病院で働く五百二十名の職員の身分をどう保証するのか。



市立総合病院を充実し現在地での存続を願う会

Q 掛川市の借金は県下トップクラス。財政は硬直化しており、新病院の建設を含め考え直すべき。

A 行財政改革の一層の推進が不可欠である。今後とも掛川市行政改革大綱に沿つて、適正な債務管理と人件費の削減や歳出全般の経費削減などの努力を行い、市民の負担にこたえていきたい。

【他の質問事項】
原発問題

掛川市の財政



A 十一月から十二月にかけて掛川地区、大東地区、大須賀地区の三地区に分けて、病院問題についてだけの市民集会を開きたいと考えている。

正規職員については、統合しても雇用することを明言しておきたい。

浜岡原子力発電所について再度問う

桑原百合子（みどりの会）

Q 新潟中越沖地震が発生して、浜岡原発について、市民の間に不安が広がっている。

① 御前崎市長、御前崎市議会議長の連名で経済産業大臣あて「浜岡原子力発電所の安全確保と耐震対策に関する申し入れ書」を提出した。掛川市も同じようにするつもりはな

いか。
② 「浜岡原発安全協定書」に事前了解が無くても、解釈書を公文書化すればよいと市長は考えているが無理がある。協定書にきちんと盛り込むべきではないか。
③ いま、不要不急のプルサーマルより、地震対策に全力を注ぐべきではないか。

A ① 議会として申し入れをしないという事であれば、それに従う。② 安全協定解釈書を公文書化することで対応していきたい。③ 東海地震に対しては、慎重を期さなければならぬ



浜岡原子力発電所

い。しかし、いつ発生するかわからない地震に対して、地震後にプルサーマルを導入するという事は、申し上げにくいことである。

【他の質問事項】
市内循環バス
中心市街地無料駐車場

長期間着工されない都市計画路線は見直しが必要では

大庭博雄（親和会）

Q 都市計画は、本来、未来のまちを描き、夢をつくるものであると考えるが、計画路線の中に入っている土地は、自分の土地でありながら制約があり、自由に利用できないという問題がある。路線を決定したら、早く着工すべきであるが、長期間着工されない路線は、見直しが必要と考える。

A 現在、道路網の計画については、見直しを行っている。また、長期間未着手のままとなっている路線については、交通量の多いところから逐次進めていく予定である。



「河川愛護」活動で川が美しく安全に保たれている。

河川の草刈りを地域活動（河川愛護）に任せてよいか

Q 現在、堤防の草刈りの大部分を地域住民による「河川愛護」活動で行っている。これに携わる住民の高齢化により、この作業は、きつい、危険なものになっている。

いつまでも、この方法でよい検討する必要がある。

A 河川堤防の草刈りが地域として対処できなくなると、経費が莫大になることが考えられる。従って、今後もボランティア事業として、地域の方々にご協力をいただきたい。

【他の質問事項】
旧東海道の松並木の保存体制と案内標識の設置



公共交通体系のあり方と公共交通空白地域の解消

東堂陽一（親和会）

Q 自主運行バスの慢性的な赤字と最近の矢継ぎ早の新路線の開設で、市の財政負担は一層大きなものとなっている。

A 一方、高齢者を中心に、公共交通空白地域にバス等を求める声は数多くある。

二律背反的なこの課題に対処すべく、経営的視点と福祉的視点を併せ持った平等で客観的な一定のルールを定め、市内全体の構想を早急に作るべきである。

A 既存の循環バスや路線バスの運行経路を踏まえ、地域住民の意見を聞きながら、地域の特性に合った公共交通体系を研究していきたい。赤字だから公共交通機関をやらないという考えは持つていない。料金の調整という問題も研究していきたい。



市街地循環バス（南回りは青、北回りは緑）

有害鳥獣（イノシシ）被害への対応をどうするか

Q 深刻なイノシシ被害多発の中、更なる対策、被害と鳥獣保護区との関連、場合によっては保護区の見直しの検討について伺う。

A 個体数の増加や森林の荒廃などが、被害の増加の原因として考えられる。昨年二月に設置した有害鳥獣被害防止対策協議会を活用し、効果的な防止策の検討、情報交換等を行っていきたい。

保護区域の縮小は可能であることから、平成二十一年の更新時には、改めて区域を検討する必要があると考える。



【他の質問事項】

地域情報化

市長の政治姿勢

行政視察報告

各委員会は、所管する事項を調査するため先進地の行政視察を行いました。

経済建設委員会

7/24～26

視察事項

- 高速増殖原型炉もんじゅ（福井県敦賀市）
- 観光行政（富山県高岡市）
- 世界遺産に向けた取り組み（富山県高岡市）
- 能登半島地震被災後の対応・空港を活用したまちづくり（石川県輪島市）



福井県敦賀市「もんじゅ」

議会活性化特別委員会

8/23～24

視察事項

- 議会活性化の取り組み
- 議員発議による条例の制定（長野県飯田市）
- 議会運営
- 議会活性化の取り組み（愛知県豊田市）



議会運営について説明を受ける委員（豊田市）

掛川市議会病院問題特別委員会の報告書

本年度の病院問題特別委員会につきましては、昨年度の広域行政問題特別委員会からの提言を踏まえ、全議員が総合病院の抱える課題問題等を共通認識とし、又、中東遠地域の各議会とも意見交換等を行いながら広域医療を調査研究するものであります。

本特別委員会のこれまでの経過を申し上げますと5月22日の第1回特別委員会から8月29日までに5回の会議を開催し、第2回では、掛川市立総合病院の抱える課題・問題の検証。6月29日第3回の会議では静岡県医療健康局長鈴木章夫氏を講師に「医師不足と自治体病院のあり方」を、8月2日・3日の東京研修では千葉県病院局長近藤俊之氏を講師に「医師不足と病院経営」を研修し、翌日は八千代医療センターを視察研修して参りました。又、8月19日には、全国自治体病院協議会長小山田恵氏の講演を開催する等、改めて医療行政に関わる情報収集と研修を進めて参りました。

更に、本特別委員会及び関連研修会等での委員の発言を集約すると次のように絞られます。

1点目、過去の特別委員会からの委員長報告及び提言書は「最大限尊重すべき…」が大半の委員の意向である。

2点目、現在の医療環境を考えると、一定の方向性を求める上で、必要以上の時間を費やすことは、医療現場の混乱と環境悪化を招く恐れがある。

3点目、一定の方向性を示した上で、更に議論を深めていく事項がある。ということであります。

これらのことから、改めて病院問題特別委員会としては、「9月定例会において市立総合病院の今後のあり方について、一定の方向性を示す。」とし、賛否をとった結果、賛成多数にて広域化を目指すべきと決しました。

この決定を踏まえ、「市長は、東遠地域の首長に病院の広域化への再確認をした上で、過去の特別委員会の委員長報告及び提言書を尊重し、市立総合病院の広域化に向けての庁内協議を開始すると共に、賛同する自治体と連携を密に具体的な協議に入ること。更には、中東遠医療圏域のネットワーク化の必要性を基本に据え、合併協議会的組織を立ち上げることを要請する。」との結論に至りました。



平成19年8月30日、上記報告書を中間報告として市長へ提出しました。



◆平成十八年度掛川市一般会計歳入歳出決算の認定

問 地方交付税が前年度比六億二千五百万円の減だが、基準財政需要額の算定方法に変化があるのか。

答 国の交付税削減策の中で、地方歳出全体の抑制、すなわち交付税の総額を抑制するもので、基準財政需要額の算定方法については特別な変化はない。

交付税改革による本市への影響は、交付額の面からは、平成十五年度の旧一市二町の交付額と平成十八年度との単純な差引で

十八億七千四百七十四万八千円の減となっている。

歳入構造の面から、一般会計の歳入決算額に占める地方交付税の割合についてみると、十七年度六、三%、十八年度五、一%と、徐々に比率は減少している。

また、一般財源の面から交付税改革の影響をみると、臨時財政対策債を含めた交付税の、一般財源総額に占める割合は、十七年度十二、四%、十八年度十、九%と減少傾向になっている。

◆市営住宅明渡し等請求事件の提訴

問 市営住宅明渡し等請求事件の提訴について、家賃滞納は父親である。子供の人權は保護されるか。

答 提訴にあたっては、子供の人權に配慮するのは当然のことと考えている。本事件の取り扱いには十分注意し、子供への影響が発生することのないよう、配慮しつつ進めると共に、万一、問題が発生した場合には、民生委員・主任児童委員などと連携し対応したいと考えている。

可決された意見書(要旨)

地球温暖化対策の推進・強化を求める意見書

近年、世界各地で気候変動による異常な災害が多発し、日本でも、異常気象が頻発している。集中豪雨による洪水や土砂災害などにより多くの人命が失われ、家屋や農作物にも甚大な被害がもたらされている。

こうした異常気象と災害を引き起こす原因が地球温暖化にあることは疑いない。

よって国においては、下記の措置を講ずるよう強く要望する。

記

- 1 諸外国に対し、地球温暖化対策を推進する積極的な役割を果たす姿勢を明確にして、温室効果ガス排出削減のための目標達成を目指し取り組むこと
- 2 森林資源などのバイオマスや、太陽光、風力、小水力などの自然エネルギーの積極的利用を進めるとともに、バイオマスタウンの拡大や関係の法改正等に取り組むこと
- 3 地球温暖化対策に取り組む地方自治体に対し、財政面も含め支援を行うこと

(提出先：衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、外務大臣、経済産業大臣、環境大臣、資源エネルギー庁長官)

割賦販売法の抜本的改正に関する意見書

国においては、割賦販売法改正に当たり次の事項を実現するよう強く要望する。

記

- 1 〔過剰与信規制の具体化〕
クレジット会社が、顧客の支払能力を超えるクレジット契約を提供しないように、具体的な与信基準を伴う実効性ある規制を行うこと
- 2 〔不適正与信防止義務と既払金返還責任〕
クレジット会社には、悪質販売行為等にクレジット契約を提供しないように、加盟店を調査する義務だけでなく、販売契約が無効・取消・解除であるときは、既払金の返還義務を含むクレジット会社の民事共同責任を規定すること
- 3 〔割賦払い要件と政令指定商品制の廃止〕
1～2回払いのクレジット契約を適用対象に含め、政令指定商品制を廃止することにより、原則としてすべてのクレジット契約を適用対象とすること
- 4 〔登録制の導入〕
個品方式のクレジット事業者（契約書型クレジット）について、登録制を設け、契約書面交付義務及びクーリング・オフ制度を規定すること

(提出先：衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、経済産業大臣)

9月定例会における議案の審議結果一覧

番号	議案番号	議 案 名	議決内容
1	議案第 92号	平成19年度掛川市一般会計補正予算(第2号)について	賛成多数可決
2	議案第 93号	平成19年度掛川市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	賛成多数可決
3	議案第 94号	平成19年度掛川市介護保険特別会計補正予算(第1号)について	賛成多数可決
4	議案第 95号	平成19年度掛川市簡易水道特別会計補正予算(第1号)について	全会一致可決
5	議案第 96号	平成19年度掛川市病院事業会計補正予算(第1号)について	賛成多数可決
6	議案第 97号	掛川市議会議員及び掛川市長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部改正について	賛成多数可決
7	議案第 98号	掛川市都市計画税条例の一部改正について	賛成多数可決
8	議案第 99号	掛川市汚水処理施設条例の一部改正について	全会一致可決
9	議案第100号	掛川市公共下水道条例の一部改正について	全会一致可決
10	議案第101号	掛川市公共下水道事業負担金条例の一部改正について	全会一致可決
11	議案第102号	掛川市農業集落排水処理施設条例の一部改正について	全会一致可決
12	議案第103号	掛川市水道事業給水条例の一部改正について	賛成多数可決
13	議案第104号	掛川市飲料水供給施設条例の一部改正について	賛成多数可決
14	議案第105号	静岡地方税滞納整理機構の設置について	賛成多数可決
15	議案第106号	水槽付消防ポンプ自動車(水Ⅰ-A型)購入契約の締結について	全会一致可決
16	議案第107号	水槽付消防ポンプ自動車(水Ⅰ-B型)購入契約の締結について	全会一致可決
17	議案第108号	市営住宅明渡し等請求事件の提訴について	全会一致可決
18	議案第109号	掛川市道路線の廃止について	全会一致可決
19	議案第110号	掛川市道路線の認定について	全会一致可決
20	議案第111号	掛川市固定資産評価員の選任について	全会一致同意
21	議案第112号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	全会一致同意
22	認 第 3号	平成18年度掛川市一般会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数認定
23	認 第 4号	平成18年度掛川市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数認定
24	認 第 5号	平成18年度掛川市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数認定
25	認 第 6号	平成18年度掛川市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数認定
26	認 第 7号	平成18年度掛川市公共用地取得特別会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数認定
27	認 第 8号	平成18年度掛川駅周辺施設管理特別会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数認定
28	認 第 9号	平成18年度掛川市簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致認定
29	認 第10号	平成18年度掛川市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数認定
30	認 第11号	平成18年度掛川市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数認定
31	認 第12号	平成18年度掛川市浄化槽市町村設置推進事業特別会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数認定
32	認 第13号	平成18年度掛川市温泉事業特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致認定
33	認 第14号	平成18年度上西郷財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致認定
34	認 第15号	平成18年度桜木財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致認定
35	認 第16号	平成18年度東山財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致認定
36	認 第17号	平成18年度佐束財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致認定
37	議 発 第12号	「地球温暖化対策の推進・強化を求める意見書」の提出について	全会一致可決
38	議 発 第13号	「割賦販売法の抜本的改正に関する意見書」の提出について	全会一致可決
39	請 願 第 1号	割賦販売法の抜本的改正に関する意見書の採択を求める請願書	全会一致採択
40	陳 情 第 3号	誰もが安心して生活できる環境を求める陳情書	継 続 審 査

議会 日誌



7月

- 18日 ● 総務委員会協議会
- 文教厚生委員会協議会
- 経済建設委員会協議会
- 19日 ● 議会活性化特別委員会
- 20日 ● 市議会全員協議会
- 23日 ● 後期高齢者医療広域連合
7月定例会
- 24日～26日
- 経済建設委員会行政視察
(敦賀市、高岡市、輪島市)
- 27日 ● 議会運営委員会
- 30日 ● 市議会全員協議会

8月

- 1日 ● 東遠工業用水道企業団議会
- 総合計画・駅前再開発問
題等特別委員会

2日～3日

- 議員全員東京研修
- 6日 ● 東遠広域施設組合議会
- 7日 ● 議会活性化特別委員会
- 小笠老人ホーム施設組合議会
- 掛川市・菊川市衛生施設組合議会
- 9日 ● 東遠地区聖苑組合議会
- 東遠学園組合議会
- 14日 ● 病院問題特別委員会
- 15日 ● 総務委員会協議会
- 19日 ● 病院問題特別委員会
(全国自治体病院協議会
小山田恵氏講演会)
- 21日 ● 経済建設委員会協議会
- 文教厚生委員会協議会
- 静岡県市町議会議員研修(静岡市)

23日～24日

- 議会活性化特別委員会行
政視察(飯田市、豊田市)
- 27日 ● 市議会全員協議会
- 南北道・幹線道路特別委員会
- 29日 ● 議会運営委員会

- 議員懇談会
- 病院問題特別委員会

9月

5日～28日

- 掛川市議会第5回(9月)
定例会
- 総合計画・駅前再開発問
題等特別委員会
- 7日 ● 議会だより編集特別委員会
- 10日 ● 議会活性化特別委員会
- 19日 ● 経済建設委員会現地視察
(市内企業)
- 25日 ● 南北道・幹線道路特別委員会
- 26日 ● 議会だより編集特別委員会

10月

1日～3日

- 議会運営委員会行政視察
- 5日 ● 議会活性化特別委員会
- 9日 ● 病院問題特別委員会
- 議会だより編集特別委員会

傍聴席

私は、生涯学習の一環として市政を学ぶ活動に参加させていただいておられます。その関係から自分達が学習している内容に関わる一般質問が、九月議会で行われることを知り、拝聴させていただく機会を得ました。

今回とても興味深く聞かせていただき、紙面では見えない内容を感じ取ることができました。それと共に、市民として市政に関心をもち、自分達の代表がどんな活動をされ、それがどのようにに私達の生活に反映されてくるかということも、少しずつ理解できるように思いました。

少しの時間でも機会があれば、また仲間を増やし、共に傍聴させていただきたいと思っております。

大坂 武田 和子

暗いニュースが連日報道される中で、少しホッとさせられました。市民生活の基盤は人間関係です。家庭・社会において安心して市民生活を送ることが出来る環境施策を是非、押し進めていただけますよう、改めて期待いたしました次第です。

議会の傍聴はどなたでもできます。

日程など詳しくは、掛川市議会事務局にお問い合わせください。また、市議会情報は、市のホームページでもご覧になれます。

- 電話：21-1160
- 市のホームページアドレス
<http://www.city.kakegawa.shizuoka.jp>

11月定例会の予定

- 11月
- 29日 本会議(議案の提案説明)
- 12月
- 10日 本会議(一般質問)
- 11日 本会議(一般質問)
- 12日 本会議(議案質疑、委員会付託)・常任委員会
- 14日 常任委員会協議会
- 21日 本会議(委員長報告、質疑、討論、採決)

編集後記

九月議会の「議会だより」が配布される頃は、晩秋。暑さも彼岸まで。しかし、この時期の猛暑、いつたい地球はどうなっているんだ。

自然環境を気にしながらも、記事の編集、写真の収集、レイアウト作成・確認と委員一同皆様に「議会だより」の提供に日々努力しております。十二ページの「議会だより」が内容充実と共に委員会に活力を、市民の皆様の声、貴重なお意見をお待ちしています。

議会だより編集特別委員会
副委員長 豊田